

# タイ タマサート大学との遠隔講義の実施

— 2008年度 第4回 —

日時：2008年12月11日（木）16：20～17：50

講師：埼玉大学理工学研究科 教授 山口宏樹

テーマ：Application of Structural Dynamics to Civil Engineering Problems

今回の遠隔講義は、タマサート大学の開講科目である Nakhorn 准教授の講義の一環として実施した。講義内容はタマサート大学からの希望により、建設工学分野における振動問題とモニタリングに関するものであり、振動問題の基本から騒音問題等の最新の研究動向まで幅広い内容が扱われた。

1. Dynamic Problems of Civil Engineering Structures
2. Introduction to Modal Analysis
3. Experimental Modal Identification of Cable-Stayed Bridge
4. Application of Modal Analysis to Traffic-Induced Noise Problem
5. Structural Health Monitoring Based on Ambient Vibration Measurement

学生はタマサート大学と埼玉大学合わせて40名近い学生・教員が出席し、大盛況であった。また、動画コンテンツを駆使しての大変分かりやすい講義であった。

遠隔講義システム上の技術的な課題としては、埼玉大学側で見る動画コンテンツの解像度が、タマサート大学との通信状態に影響を受けるため、映像が見え難い場合があった点が指摘される。別途、動画専用のプロジェクターを使用するなどの工夫が必要かと思われる。



写真1 講義を聴講する埼玉大学側の学生の様子



写真2 山口教授によるモード解析の説明風景



写真3 講義の様子（中央モニターはタマサート大学の聴講風景、  
左モニターは講義PPT）